

トピック — レタスの冬場の輸入が増加 —

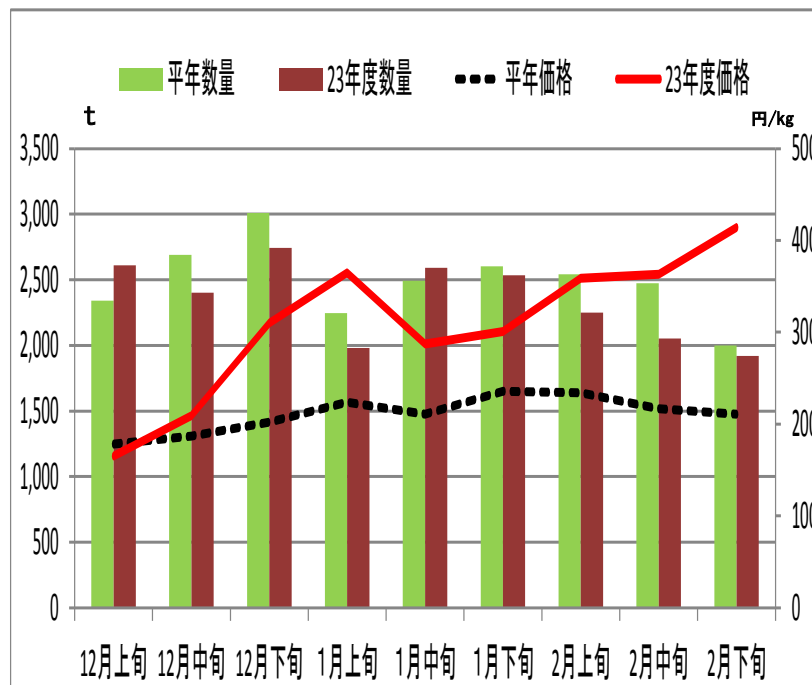
レタスの12月～2月の入荷量を平年と比較すると、ほとんどの旬で平年を下回っている。

レタスは、厳冬期には生産が不安定になりがちであるが、今年度は気温が平年に比べて特に低めに推移していることが、入荷量の減少に大きく影響している。

一方、12月～2月第3週までの輸入量を見ると、近年増加傾向となっており、今年度は、大幅に増加している。レタスは業務用需要が強い中、寒さの影響で少なめになることを見越した実需者が、早めに輸入の手当をしたものと思われる。主な輸入先国は台湾、米国となっている。

現在、国内消費量に占める輸入量の比率は小さいが、業務用需要が強いレタスの周年安定供給が求められている中で、特に生産が不安定になる冬場の国内生産の安定が課題となっている。

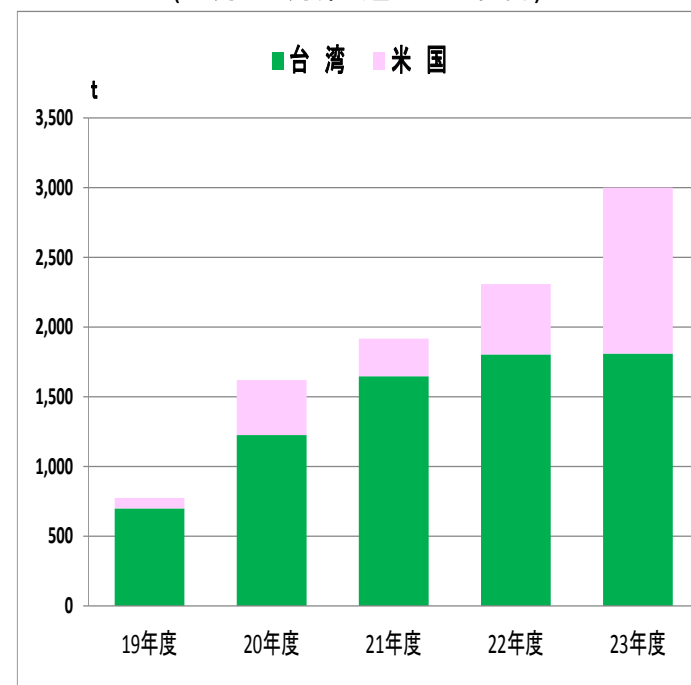
レタスの入荷量と価格の旬別推移
(平成23年12月上旬～平成24年2月、東京都中央卸売市場)



注) 平年数量、平年価格は、12月は18～22年の平均、1月及び2月は9～23年の平均。

資料：東京青果物情報センター

レタスの輸入量の推移
(12月～2月第3週までの合計)



資料：ベジ探 (資料) 農林水産省「植物防疫検査数量」

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、三部、須藤 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表日にメールにてお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のお問い合わせから <https://www.alic.go.jp/form/vegetan.html>

★野菜ソムリエの旬ナビゲーション「ベジシャス」 http://www.alic.go.jp/y-suishin/vaiukvu01_000076.html